

# 発言通告書（総括表）

平成28年第2回定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	小枝議員 (声)	東松下町(旧千桜小学校跡地)マンション開発計画、その結果と建物の安全性について	<p>1、平成22年11月デベロッパー選定において、7事業者の中から、スターツコーポレーションが優れているとして選ばれた6項目の理由について、区長は認識しているか。</p> <p>2、現在、売り出し広告の段階となり、選考理由の根底を覆すほど大幅な変更・変化が明らかとなっている。(坪単価：224万円⇒336万円、住宅戸数：154戸⇒277戸、他)</p> <p>変更する際には事前に区と協議するとの約束があったが、6項目の変更・変化について、区長は承認しているのか。承認しているとすれば、何のための修正なのかメリットデメリットをどう評価したのか、6点それぞれの見解を問う。</p> <p>3、当初の計画の一部変更はやむを得ないものもある。「中堅ファミリー層への住宅供給」という目的があと形もなく変わってしまったとする区民からの疑問に対し、区長は責任者として、合理的な理由を、区民にわかるように説明する責任があるが、いかがか。</p> <p>4、通常、区内の民間マンション開発に対し、区は住民票の付置要件を付けている。区の土地を貸し出しているマンション開発であれば、当然に付置要件を付けるべきものとするが、いかがか。</p> <p>5、区営棟と民間棟の同時施工であることから、その比較において、民間棟の工事に関して心配の声が絶えない。区営棟の杭は29m民間棟は19mでなぜ安全か、「支持層」はどこか。</p>	区長のみ
2	永田議員 (自民)	テロ対策について	過去最大規模の警備体制で伊勢志摩サミットは無事終わったが、テロの脅威は続いている。ハードターゲットの官公庁、ソフトターゲットとなる可能性のある東京駅周辺、秋葉原等全国有数の観光地、東京五輪会場を抱える本区でのテロ対策について問う。	区長及び関係理事者
3	池田議員 (自民)	児童発達支援の拡充について	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代育成支援など0～18歳までの子育て施策のうち、子ども発達センター、特別支援学級だけでなく放課後を過ごすための支援施設が必要ではないか。</li> <li>千代田で生まれ育った障がい者も自立して生活を続けていられるように就労支援事業の拡充の考えはないか。</li> </ul>	区長及び関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成28年第2回定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
4	秋谷議員 (民進ク)	開かれた区政について	区政に対する信頼は、より良いサービスを提供するだけでは得られない。透明性を一層高め、開かれた区政を進めていく必要がある。	区長及び 関係理事者
5	内田議員 (自民)	1. 熊本地震から見えた防災の課題と対策について 2. 千代田区における民泊の課題と対策について	①地域特性を踏まえた「自助」「共助」の在り方 ②地域防災訓練における「DIG」「HUG」の導入  ①民泊をとりまく千代田区の現状 ②民泊の規制緩和と課題に対する区の対応	区長並びに 関係理事者
6	松本議員 (自民)	○高齢者施設の現状について  ○認知症サポーター養成講座について	介護職員の離職防止対策をどのように推進しているか 各施設間のサービスの質の向上が維持されているか 介護職員が抱えるストレス防止の受け止めや対策をどのように進めているか  本区の実態はどのようなものか 具体的に活動している内容はどのようなものか 区の見守り体制をどのように確立するか	区長並びに 関係理事者
7	寺沢議員 (紡民)	安全な環境を求めて	①アスベストについて ・再開発等とアスベスト ・災害時のアスベストについての取り組み ・補助金について ・専門家の育成 等 ②電磁波について ・身体、環境への影響 ・子どもが置かれた生活環境 ・欧米での調査結果をどう受け止めるか 等	区長並びに 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成28年第2回定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
8	林議員 (千代田)	1. 九段中等教育学校のあり方 ①至大荘行事について  ②処分撤回の冤罪に対する責任と対応  2. 児童相談所の設置に向けて	伝統行事のあり方について  至大荘行事調査検証第三者委員会  設置に向けた対応	区長、教育長 並びに 関係理事者
9	米田議員 (公明)	「ちよだ生物多様性推進プラン」について	①生物多様性推進プランを策定して3年、区の今後の基本的な考え方を問う ②千代田区の特色を生かした生物多様性の事業について ③生物多様性推進プランを活用した学校教育と障害者支援について ④近隣区との連携による生物多様性推進プランの促進	区長および 関係理事者
10	たかざわ議員 (千代田)	1 民泊について  2 風ぐるまの見直しの状況  3 客引き防止条例について	オリンピック・パラリンピックに向け来訪者数の予測、宿泊施設の部屋数などの把握はしているか?民泊について区の考え方はいかに。  第一回定例会において、保健福祉部長の答弁の中で「区民・利用者の声を取りまとめ、夏ごろまでに風ぐるまの見直しを実行する」とあったが、どのような意見があり取りまとめの状況はいかに。また、どのように見直すのか検討状況はいかに。  昨年の第四回定例会で質問をした。答弁で「鼯ごっこの状況もあるが、目に余るところには試験的に警備員を配置して対応していく。今のところ罰金を科すことは考えていない」との答弁があった。半年が過ぎ、改善されたのか?	区長及び 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成28年第2回定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
11	飯島議員 (共産)	保育の「質」について  自転車と歩行者の共生のために	「『質』のよい保育は子どもの人生を変える」と言われている。保育要望に応えるためには、「量」の拡充とともに「質」の確保と向上が求められている。 1)「保育の『質』」についての見解を問う 2)現場・保護者が求める「質」を論議し、区のガイドライン策定が必要ではないか 3)保育士の専門性・継続性は「質」に大きく影響する。しかし経験を積んだにも関わらず、働き続けられず「潜在保育士」が多い現状を打開するために求められることは何か。  コミュニティサイクルの4区広域利用実験が終了した。歩行者と自転車走行者の安全・安心のためにスピード感をもった道路整備計画を 1)今後のコミュニティサイクル計画について 2)自転車道の整備計画について	区長並びに 関係理事者
12	牛尾議員 (共産)	(1)安心して預けられる保育所の増設で認可保育園の待機児解消を  (2)就学援助の拡充について	①保育園待機児問題は依然深刻。国の規制緩和による子どもの詰込みでは根本解消にはならない。国のこの方針への区の認識を問う。 ②小規模保育A型、及び事業所内保育所の保育士配置要件の緩和は保育の質の低下を認めることになるのではないか。区の姿勢を問う。 ③公共性が高い認可保育園の増設について、児童福祉法24条の精神に立ち、近隣住民の理解と協力を得るために区が責任を果たすべき。 ④どの子どもも安心して預けられる「質の高い保育サービスを提供」するために、区立保育園の増設を検討すべき。  格差と貧困が広がる中で、就学援助は低所得者世帯にはなくてはならないもの。その就学援助の援助対象を広げることと支給時期を早めることを求める。	区長並びに 関係理事者
13	岩田議員 (民進ク)	区内の犯罪を減らすために  空き缶回収機の復活について	犯罪に使われることの多いレンタル携帯の貸出や私設私書箱を運営する業者等に対する罰則の強化など  空き缶回収機『くうかんちょう』を区内に再び設置できないか。	区長ならびに 関係理事者